

別紙標準様式(第7条関係)

会 議 録

会議の名称	令和3年度 第4回 枚方市新しい学校づくり協議会
開催日時	令和3年7月17日(土) 10時00分から11時20分まで
開催場所	高陵小学校図書室
出席者	会 長：大村委員 副会長：加嶋委員 委 員：森田委員、松浦委員、中田委員、明井委員、春永委員、 棧敷委員、高陵校区コミュニティ協議会中村副会長(代理出席) 事務局：高橋総合教育部次長、新しい学校推進室畑中課長、 嶋田課長代理、石田係長、多田主任、廣瀬主任
欠席者	山下委員
案 件 名	1. 学校名(案)の選定について 2. ワーキングチームについて 3. 新しい学校の教室配置(素案)について 4. 高陵・中宮北小学校の統合による新しい学校づくりについて(案) 5. その他
提出された資料等の名称	1. 新しい小学校名(案)選出一覧 2. 新しい小学校名(案)応募数順位表【抜粋】 3-1. 令和3年度将来推計 3-2. 令和4年度教室配置図(素案) 3-3. 令和7年度教室配置図(素案) 4. 高陵小・中宮北小学校の統合による新しい学校づくりについて(案) 5. 通学路における道路標記等の確認場所 6. 新しい学校づくり協議会ワーキングチーム(PTA)会議録
協議・決定事項	1. 新しい小学校名(案)の選定 2. ワーキングチームの協議内容 3. 新しい学校の教室配置(素案) 4. 高陵・中宮北小学校の統合による新しい学校づくり 5. 次回協議会開催日時の決定(令和3年8月7日土曜10時)
会議の公開、非公開の別及び非公開の理由	公開
会議録等の公表、非公表の別及び非公表の理由	公表
傍聴者の数	0人
所管部署(事務局)	総合教育部 新しい学校推進室

協 議 内 容

1 開 会

会 長： 定刻になりましたので第4回「枚方市新しい学校づくり協議会」を開催します。
会議につきましては、まん延防止措置が延長されていることもあり、1時間程度
としたいと思います。スムーズな進行に努めますので、皆様のご協力をよろしくお
願いいたします。ご発言がある場合は、私（会長）が指名をしてからご発言いた
だきますようよろしくお願いいたします。なお、森委員の代理として高陵校区コミュ
ニティ協議会中村副会長にお越しいただいております、よろしくお願いいたします。

2 議 題

案件1 学校名（案）の選定について

会 長： それでは、案件1.「学校名（案）の選定について」事務局から説明をお願いし
ます。

事務局： それでは、案件1. 学校名（案）の選定について、ご説明させていただきます。
まずは説明の前に、選出していただく際にお送りしました応募数順位表で、最後
に記載しておりました33票の「中宮流れ星」についてですが、学級会で児童がク
ラスの総意として考えた小学校名となります。児童一人一人の応募でなかったこと
や、別でも応募していて一人一回の応募なのかが不明なため順位には入れておりま
せん。ご了承をお願いいたします。

それでは、資料1をご覧ください。こちらは応募の中から10名の協議会委員の
皆様がそれぞれ選出していただいた学校名となります。その中には重複したものが
あったため、集計した結果、6とおりの選定となりました。

次に、資料2をご覧ください。こちらは応募数順位表の抜粋となります。現状の
一次候補は、協議会委員の皆様から選出していただいた学校名と応募数が多かった
上位3位までを合わせた「あおぞら」、「天の川」、「桜風台」、「禁野」、「きんや台」、
「禁野台」、「ふたば」の7とおりとなっております。資料2の右側※1と※2の記
載は、「よみがな」は同じで「漢字」か「ひらがな」の表記が違うものとなり、例
えば応募数10件で4位の漢字表記「御殿山」と応募数1件のひらがな表記「ごて
ん山」を同一の応募とするのであれば、応募数11件となり、3位の「天の川」と
同じ順位となります。また、委員の皆様から選出いただいた6とおりの学校名の中
にも同様に、漢字表記の「禁野台」とひらがな表記の「きんや台」があります。応
募者が学校名を考えた理由・根拠・由来等や委員の皆様が選出した理由には、漢字
表記やひらがな表記を選んだ理由も含まれていますので、別の学校名として取り扱
っております。このあたりも委員の皆様のご意見を頂きたいと思います。

なお、本日のご意見等を踏まえ、両校の児童に、7月19日月曜日に選挙形式で
投票を実施し、事務局にて集計した後に最終候補の決定となります。学校名（案）
の選定についての説明は以上となります。よろしくお願いいたします。

会 長： ただ今の学校名（案）選定の説明につきまして、ご意見・ご質問はありますで
しょうか。

・
・

委 員： 応募総数はどれくらいありましたか。

事務局： 222件になります。

委員： 漢字とひらがなは別物だと思いますので、児童が投票する時には別々にするべきだと思います。

会長： 今回の協議会で児童が投票する学校名（案）を選出するという事でよろしいですね。

事務局： 現在の案では7とおりの学校名を一次候補とし、7月19日に選挙方式で両校児童が投票し、得票数の多かった上位3つ程度を最終候補として絞ります。その中から市で学校名を1つ選んで新しい学校名（案）とし、条例改正により学校名が決定する流れとなります。

委員： 上位3つ程度はいつぐらいに決定しますか。

事務局： 7月20日以降に集計作業を行いますので、早ければ7月21日には集計結果がわかるものと思われます。

委員： 枚方市の方で学校名はいつぐらいに決定しますか。

事務局： 9月定例月議会において、同月中旬頃の条例改正の議決をもって正式決定します。

会長： 先生方も大変だと思いますが、子どもたちに投票してもらい上位3つ程度の候補を選んだ後、2つの学校名が選ばれなかったことについて、子どもたちへわかりやすく説明していただきますようよろしくお願いいたします。それではこの7つの学校名（案）を本協議会の一次候補とし、児童に投票いただくということでよろしいでしょうか。

○（「異議なし」）

会長： 児童の投票日は7月19日となりますので、先生方も大変だと思いますがよろしくお願いいたします。

案件2 ワーキングチームについて

会長： 次に、案件2.「ワーキングチームについて」、事務局から説明をお願いします。

事務局： ワーキングチームにつきましては、PTAワーキングチームが活動されていて、本日、午後からも第3回目のワーキングチームを開催される予定です。

前回の協議会以降、「通学路の安全・安心に関すること」と「新しい学校に関すること」のワーキングチームの設置に向けて、メンバーの推薦を、両校区コミュニティ協議会やPTAの皆さまにお願いしております。順次メンバー報告をいただいておりますので、メンバーが確定次第、通学路のワーキングチームから、諸課題の整理に取り組んでいきたいと考えています。また、「新しい学校に関すること」ワーキングチームは、9月以降、マフラータオルのデザインに取り組んでいきたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

会長： ただ今のワーキングチームの説明につきまして、ご意見・ご質問はありますでしょうか。

・
・

○（「ご意見・ご質問なし」）

会長： 協議の中で出てきた細かな諸課題等については、ワーキングチームで検討を行うので、会議が増えますがそれは仕方のないことだと思います。それでは続きまして、PTAのワーキングチームについて加嶋副会長よりご報告よろしくお願いいたします。

副会長： PTAのワーキングチームについて会議を重ねており、PTAの備品等については中宮北小のものを基本とし、高陵小のものも持っていくもの、廃棄するものを選

別して進めていこうと思います。現時点では役員数・委員数についてはほぼ確定していますが、コミュニティ関係でどれぐらいの事務量がかかってくるのかがまだ決まっておらず、それにより委員数も変わってくると思われます。

新しい学校の役員数ですが、新たに立ち上げるということもありますので、両校から半分ずつ出しましょうということになりました。最初の中宮北小の校舎から始まりますので、新しい学校のPTA会長は中宮北小から、副会長2名は各校から、書記も各校から、会計1名は高陵小からと、両校の情報を共有するためこういう体制にいたしました。事務局からの連絡も会議録にあるとおり、市に依頼すれば電柱に巻くタイプの物を配布していただけるとのことですので、可能な範囲でお願いしていけたらと考えております。また、学校統合するまでに裏門のオートロック化をしてほしいとの強い要望も出ております。本日の午後から、PTAのワーキングチームを開催する予定なんですが、ほぼPTAに関することですので皆さんに大きく影響があるものではないものかと思います。コミュニティやいきいき広場関係の方向性が決まらない事にはPTAの人数を確定することができないので、そこも決めていただけたらと思います。

会 長： ただ今のPTAワーキングチームの説明につきまして、ご意見・ご質問はありますでしょうか。

・
・

委 員： 2つあるPTAが1つになるにあたり、規約作りはしているのでしょうか。

副会長： 規約自体は、高陵小も中宮北小も他の学校も同じような作りになっており、異なる部分は委員の仕事内容です。コミュニティと関係してくる実務内容さえ決まれば、規約は作成できます。また、PTAワーキングチームで出た意見を保護者の方々に報告する必要があるので、本日のいしは次回で活動内容案を作成し、9月下旬から10月初旬には確定していきたいと考えております。

会 長： 20校くらい他校の規約を参照しましたがほぼ変わりはありません。委員数の枠組みや免除規定等を保護者に確認、了承を得てから確定していきたいと思います。また完成したらお見せしたいと思います。

副会長： 枚方子どもいきいき広場なんですが、高陵校区と中宮北校区のやり方に相違があります。個別に話を出すよりも、ワーキングチームとして集まって協議する場を設けていただきたいと提案いたします。また、留守家庭児童会室についても別の問題を内包しておりますので、こちらでもワーキングチームとして立ち上げることを提案いたします。

会 長： 留守家庭児童会室と枚方子どもいきいき広場は所管課が一緒なので、一緒のワーキングチームでと思ったのですが、いきいき広場はコミュニティが関係している一方、留守家庭はPTAと学校が関係しているので、会議が増えますが別々に立ち上げるということを考えております。

会 長： ただ今の提案につきまして、ご意見・ご質問はありますでしょうか。

・
・

委 員： 高陵校区と中宮北校区のいきいき広場の内容が全然違うので、提案のとおりワーキングチームを設置して考えていく必要があると思います。

会 長： ワーキングチームを作るにしてもリーダーが必要ですが、いかがでしょうか。ご

意見がないようでしたら我々2人（協議会会長、副会長）でやりましょうか。

副会長： 中宮北小校区はいきいき広場に対する強い思い入れがあり、高陵小校区保護者もPTAとしていきいき広場にどれだけ参加するのか不安だという声も少なからずあるのが事実です。どちらも素晴らしい活動をされている中、両校の活動がどのようなものかお互いしっかり情報を持っていただき、一番よい方法で進めたいと思います。いきいき広場のワーキングチームリーダーは中立的な観点で私の方でさせていただきますと思うのですがいかがでしょうか。

会長： 私は留守家庭児童会室のワーキングチームリーダーをさせていただきたいと思います。いきいき広場については、コミュニティからもワーキングチームメンバーを選定していただき事務局へご報告していただけたらと思います、よろしくお願いします。また、留守家庭児童会室については実際に留守家庭に預けている保護者の方に出ていただくのが一番よいかなと考えておりますので、参加者を募り開催していきたいと思います。枚方子どもいきいき広場も留守家庭児童会室も放課後子ども課が所管しておりますので、意見が集約され決定される段階まできたらそちらの課の方にもご参加いただく形で依頼したいと思います。

事務局： 連携をとって進めてまいります。

委員： 留守家庭児童会室も両校区併さればかなりの人数になると思いますので、その部分も考えて行動する必要があります。中宮北小だけで56人の児童が在籍しておりますので、100人近くなると思います。

会長： それでは私と副会長が調整してワーキング設置に向けて進めていきたいと思いますので、皆さまご協力をよろしくお願いいたします。

案件3 新しい学校の教室配置（素案）について

会長： 次に、案件3.「新しい学校の教室配置（素案）について」、事務局から説明をお願いします。

事務局： それでは新しい学校の教室配置図の案についてご説明させていただきます。

まず、資料3-1をご覧ください。こちらは新しい学校の令和3年度将来推計になります。中央の表を見ていただきたいのですが、例えば令和4年度の推計は、現在の5歳児から小学5年生までの児童を推計しており、児童数は379人、学級数は12学級と予測しております。次に、令和7年度は現在の2歳児から小学2年生までの児童を推計しており、児童数は446人、学級数は15学級になると予測しております。もちろんこれはあくまでも予測であり、私立小学校に行く子どもや、転出や転入、転居などにより実際には若干予測とは異なる数になることもありますが、今の児童の数をベースにして考えますと、令和4、5、6、7と年度が上がるたびに学級数も1学級ずつ増えていく予測となっております。また、現在の支援学級数につきましては、高陵小は3学級、中宮北小は5学級となっております。支援学級数の将来予測は難しい部分もございますので、令和4年度から7年度までの支援学級数を7学級と仮定させていただいております。

これらを踏まえた上で資料3-2をご覧ください。これは、児童に必要な教室等を最優先に配置し、加えて教室以外にも必要な諸室を配置した資料ですが、皆様のご意見をいただくため、当方が両校と相談しながら作成した素案ですので、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

PTA会議室や校区集会室についても、資料のとおりご提案させていただいております。なお、多人数での会議や作業等で広い部屋が必要な場合は、学校の使用に支障のない範囲で特別教室をご使用いただくことを想定しております。また、高陵

小学校にある地域の自主防災資機材倉庫には、自転車や発電機等が入っていると思うのですが、中宮北小敷地に設置する物置（幅 2.25m、高さ 2.1m、奥行 90cm）を新しく 2 基をご用意させていただくことを想定しております。また、留守家庭児童会室につきましては、放課後子ども課より、専用教室含め 4 教室を確保する必要があるとのことですので、仮設校舎の内 3 部屋を留守家庭児童会室の部屋とさせていただいております。

次に資料 3－3 をご覧ください。新しい校舎が完成する予定の前年度である令和 7 年度には、普通学級 15 学級、支援学級 7 学級と予測した教室配置図案になります。令和 7 年度は、先ほどご説明したとおり児童数が増加しますので、教室やその他必要な諸室の配置が余裕のない状況となりますが、学校運営に支障はないと考えております。もちろんこれら令和 4 年度、7 年度の教室配置図はあくまでも素案ですので、今後、児童数の変動等によってその都度その都度の見直しが必要なものであるということをご理解ください。

説明は以上になります、よろしくお願いします。

会 長： ただ今の新しい学校の教室配置（素案）の説明につきまして、ご意見・ご質問はありますでしょうか。

・
・

委 員： 高陵校区自主防災会の会長をさせていただいております。高陵小、中宮北小どちらにも危機管理室所管の防災備蓄品が配備されていますが、統合されることにより高陵小の備蓄品が引き上げられるということを聞いております。市が管理する分は減ると思いますが、コミュニティが管理している自主防災資機材は運動場にある倉庫だけでなく、校舎 2 階（校区集会室の上）の空き教室にもたくさんありますので、持っていくもの、廃棄するものを精査する必要がありますが、今の案の防災倉庫 2 基だけでは収納できないのではないかと思います。ただし、大きな倉庫を建ててほしいとか無理なことも言えないと思っており、今すぐにお答えはできないのですが、これから検討させていただくということですのでよろしくお願いいたします。

委 員： 中宮北小校区の自主防災資機材倉庫は現在どこに置かれているのですか。

委 員： プールの前に置いています。学校施設に倉庫等を設置する際は申請手続きが必要になり、許可されるまで時間を要します。高陵小校区においてどれだけの容量が必要かどうか把握した上で、教育委員会に話をする必要があるのではないかと思います。

委 員： 危機管理室から配備されている毛布について、高陵小校区は 1,000 枚ありますが中宮北小校区さんは何枚ありますか。

委 員： 同じく 1,000 枚あります。プール前の倉庫に収納されています。

委 員： 統合したら高陵小校区の 1,000 枚分は市で回収となり、中宮北校区の分を両校区で使用するようになります。それはそれでいいのですが、その他の自主防災会が所管している備品等がどれだけあるかわかりません。

会 長： 大変だと思いますが、自主防災会で購入されたものについての精査をよろしくお願いいたします。

委 員： 来週あたりに危機管理室へ赴き、市が引き上げるもの、自主防災会が整理するものについての協議を行いたいと思います。

事務局： 危機管理室も、高陵小に置いてある防災備蓄品の取扱いについては協議が必要です、との見解でした。その部分もしっかり決めた上で令和 4 年 4 月の学校統合に臨

んでいきたいと思います。

委員： 私の方から危機管理室へお話しさせていただいても大丈夫でしょうか。

事務局： 学校統合すると避難所も1つになりますので、防災備蓄品も1つになるのが基本的な考えですが、地域とも協議してほしい、と危機管理室にはお伝えしてあります。

委員： 自主防災会で購入したものは地域の財産であり、使えるものは使う、何でもかんでも処分するということは避けたいと思います。

委員： 教室配置図（素案）について、校長の立場から見ても何点か課題がございます。本校の場合、毎日何時間かは支援学級で個別指導している中、1、2年生は1階に通常学級が設置されますので、支援学級を3階に4教室設置するということは、1日の数回は1階から3階まで往復することになります。もう1点は、体育の時間、すべての学年、学級において男女別で更衣を行っています。本当はすべての教室に更衣室を設置したいところですが、なかなか難しいと思いますので手法を考えていく必要があります。

本協議会でも皆さまから様々なご意見をいただくと思うのですが、限られた教室数の中、調整が必要になると考えます。学校だけでは対応し切れない部分も出てきますので、ここにおられる方々の総意で（案）を作成し提案していく、ということで進めていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

副会長： 一応この教室配置図（素案）は両校とも確認していただいた上で、作成されたということでよろしいですね。

事務局： はい。

委員： 児童数が増えていくということが1つ問題ですね。

委員： 令和4年から7年にかけて普通学級が12学級から15学級に増えます。令和7年度の教室配置図（素案）ではプレハブ棟2の少人数教室に※があり、放課後自習室、児童会室、生活科室、外国語教室を兼用とあります。少人数教室と外国語教室を兼用するとなかなか苦しい状況です。今は子どもたちの机や椅子を保管するスペースがありますが、それも厳しい状況になります。色々な部分で不便が生じることも想像できますが、ご認識いただけたらと思います。

委員： 支援学級を3階にあてはめること自体に無理があるのではないのでしょうか。例えば仮設校舎にもっていくことはできないのでしょうか。

委員： 児童のことを考えていただいておりますがとうございします。支援学級を教室棟以外の場所に設置するということは指導上様々な課題が出てきます。また、エアコンを入れていただいておりますが、1階と屋上の熱がそのまま伝わる3階では体感温度がかなり変わってきます。素案では支援教室をパーテーションで分けていただいておりますが、できる限り個別指導の対応ができるよう検討をお願いします。

また、支援教室も今の素案、7学級より増えることはあっても減ることはないと思いますので、例えば、新たに仮設校舎を短期間でご用意していただくことも考えられると思います。運動場が狭くなり子どもたちは不便になると思うのですが、予算や設計等のことも含めて行政側でご検討いただけたらと思います。

事務局： 将来推移に基づいた仮設校舎の配置になりますが、学校運営に支障が出ないように進めていきたいと思っています。

委員： 支援学級の児童は両校あわせて約30人いますので、そこもよく考えて進めていく必要があると思います。

委員： 例えば小学校の教室の標準配置というものがあって、この素案はその標準の中におさまっているのでしょうか。

事務局： 先ほど支援学級の将来予測は難しいとご説明しましたが、最近では支援学級を望ま

れる保護者の方もどんどん増えてきております。そして1クラスあたりの児童の上限もそんなに多いわけではありませので、必要な教室数も増えてきます。それだけの教室数をすべて確保できるかといふとなかなか厳しい状況となっておりますので、教室を半分に分割して使用しております。標準配置という明確なルールがあるわけではありませんが、1学級につき1つの教室を使用することが理想であると考えています。

委員： 移行期なのでやむを得ない部分も出てくるとは思いますが、子どもたちにしわ寄せがくるような4年間は避けた方がよいと思いますので、財政的な部分はありますがご検討をよろしくお願いします。

委員： 年数的には短いですが、中宮北小施設で過ごした児童が何年間かは新しい校舎で過ごすことができますので、この4年間で出てくる課題を、新しい校舎の設計に十分反映していただきますようよろしくお願いします。

事務局： 新しい学校づくりにおいても、考慮していきたいと考えております。4年間中宮北小学校施設で過ごす子どもたちが我慢を強いて過ごすことがないよう、進めていく必要があると感じています。

運動場の環境や校舎前の広場等について、余裕を持った形でお話しさせていただいておりますが、そこも含めて検討していく必要があると思います。毎年当室で将来推計を把握しておりますので、大きな変化があればまたご相談させていただきたいと考えますので、よろしくお願いいたします。

副会長： 留守家庭児童会室3部屋と校区集会室があるプレハブ棟1は、2階建てですか。

事務局： 平屋1階建てになります。

委員： 仮設校舎の長さなどは決まっているのですか。

事務局： 1つの教室につき約8m×8mになります。きれいな建物ですが、鉄筋コンクリート造ではないので例えば児童が走ったりすると少しは振動等があるかもしれません。

案件4 高陵・中宮北小学校の統合による新しい学校づくりについて（案）

会長： 次に、案件4.「高陵・中宮北小学校の統合による新しい学校づくりについて（案）」、事務局から説明をお願いします。

事務局： 「高陵・中宮北小学校の統合による新しい学校づくりについて（案）」について、説明させていただきます。

まず、高陵小学校と中宮北小学校の統合に際しては、令和3年6月28日の教育委員会定例会にて策定しました「枚方市のめざす学校像」に基づき、これからの枚方市の新たな教育の推進モデルとなる「高陵・中宮北小学校の統合による新しい学校づくりについて」を作成し、新校舎の設計等に反映してまいります。なお、作成にあたっては、市議会や有識者、枚方市新しい学校づくり協議会等のご意見を聞きながら進めていきます。

「資料4」「高陵・中宮北小学校の統合による新しい学校づくりについて（案）」をご覧ください。

「高陵・中宮北小学校の統合による新しい学校づくりについて」、枚方市のめざす学校像や、その主な取り組みについて、両校の新しい学校づくりを進めるにあたり、枚方市学校整備計画と併せ、重視する主な観点を具体的にまとめたものとなります。

1ページをご覧ください。本案では、基本的な考え方として、SDGsの目標の中から持続可能な達成目標を掲げ、「枚方市のめざす学校像」を指針として、新し

い学校づくりを推進するものです。ここでは主に4つの項目に分けており、1ページの 1. 枚方版「ニュー・スマートスクール」の推進として、『「1人1台タブレット活用」先進都市として、枚方版 ICT 教育モデルによる学力向上の取り組みとともに、ICT 等を活用した様々な取り組みを進める。』、としています。

(1) では、ICT の活用で学力向上と安全対策に取り組む学校、としての具体的な内容を記載しています。その下の表には、左側には「めざす学校像」における具体的な整備事例を記載しておりまして、右側には新しい学校づくりにおける整備(案)を記載しております。ここでは、【普通教室】に、○遠隔授業に活用する大型モニターの設置や、○大容量通信網の整備、○校門、廊下などへ顔認証が可能な高機能防犯カメラの設置をすること等を挙げています。

次に、資料の2ページ、2. 一人ひとりの子どもを大切に作る学校づくり、では『「子どもを守る条例」の基本理念に則り、学校としての役割を十分に果たすための学校づくりを行うとともに、1人ひとりの子どもが自他ともに認めあい、尊重し合う学校づくりを行う。』としています。(1)「新しい生活様式に対応した学校」の、表の右側「新しい学校づくりにおける整備(案)」としまして、○教室の配置や空間の活用等については、3密回避の対応を行う、○多目的な活用ができるオープンスペースを設置、等をあげています。

3ページでは、(2)『「個」に応じた支援教育を進める学校』では、○エレベーターの活用も含め児童の障害の状態に応じた適切な支援教室の配置、○普通教室の仕様として、防音効果のあるパーテーションを設置、○トイレやシャワーのある肢体不自由児対応教室を普通教室規模で設置する整備(案)を記載しています。

3. 子どもの夢や志をはぐくむ学校づくり、として「子どもの発達段階に応じて、豊かな心や夢や理想の実現に向かって生きる力、社会に貢献するという高い志をはぐくむため、子どもたちが目標をもって楽しく学べる学校づくりを行うとし、(1)「安心と夢のある学校」、4ページでは(2)「夢のある英語教育を進める学校」、(3)「多機能な学校図書館を設置する学校」としています。

5ページをご覧いただきまして、4. 地域とともにある学校づくり、として「学校を地域の貴重な財産としてとらえ、地域防災や子育て支援、生涯学習の拠点として広く地域住民から活用されるような学校づくりを行う。」とし、(1)「留守家庭児童会室機能を確保した学校」、(2)「防災拠点となる学校」、6ページの(3)「地域の活動拠点となる学校」としています。

なお、この資料4に掲載しております写真は、イメージとして文部科学省のホームページから引用したものです。

現在、教育委員会内や学校、本市の様々な関係部署から意見を聴取しており、本協議会の皆様からのご意見をいただきたいと考えておりますのでよろしくお願い致します。ご意見のある場合は、7月21日(水)までに事務局にお寄せください。説明は以上です。

会 長： それではまた資料をご確認いただき、何かございましたら7月21日までに事務局までご連絡していただきますようお願いいたします。

・
・

委 員： この資料は令和8年度に移る新設校のことでしょうか。

事務局： そうです。

委 員： 明倫小学校がこのようなイメージなのではないでしょうか。

事務局： 明倫小学校も施設に対してオープンスペース等を配置しておりますが、効果と課題があります。今回は、明倫小学校の改修から年数が経っており ICT 技術も進んでおりますので、新しいイメージを見ていただけたらと思います。

会 長： 新しい学校には最新のものの、いいものを取り入れていただきますようお願いいたします。

委 員： 資料の中には化学物質過敏症児童への対応が記載されておられません。施設だけでなく備品のにおい、化粧、洋服の洗剤に反応する等、様々な状況が想定されますが、少なくとも校舎を建てる時に原因となるものの使用は考慮いただきますようよろしくお願いいたします。

委 員： 4年間かけて新しい学校づくりを進めていかれると思うのですが、4年間中宮北小敷地で過ごした児童や保護者、教職員の意見や考えを新設校に十分反映できるような仕組みづくりをしていただけたらと思います。

委 員： 私は4年後の新設校が楽しみではありますが、その前の4年間、そしてこの1年間がすごく大変だと思います。今の2年生は3、4、5、6年生の4年間、中宮北小敷地で過ごすことになります。この5年間子どもたちが過密な状況とならないよう、また、保護者からも教育環境が悪くなったと言われることがないようよろしくお願いいたします。

委 員： 資料に顔認証システムが挙げられていますが、私自身も社会的にも個人情報保護が非常に重要であると思っています。防犯も大事だと思いますが、学校にはいろいろな方が来られますし、個人情報はもっと重視すべきだと思います。個人情報を取得した後も漏洩しないよう、きちんとした管理体制をお願いいたします。

案件5 その他について

事務局： 資料5をご覧ください。新しい学校の通学路（案）を現地確認させていただきました。道路標記等が薄い場所が①～⑦（裏面に写真）の箇所になります。また、⑧については見通しが悪いという印象を受けました。これらについては、既に交通対策課へ報告をさせていただいており、今後、交通対策課の方で現地調査をしていただく予定となっております。また、必要に応じてワーキングチームにて協議していただきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

・
・

委 員： 資料の赤い丸印は、児童の集合場所を表していますか。

事務局： そうです。登校時の出発地点となっております。

会 長： その他、事務局から何かございますでしょうか。

事務局： はい、次回協議会の日程調整をお願いします。先ほどご確認いただきました「新しい学校づくり」の集約・報告をさせていただきたいこともありますので、8月7日（土）でお願いできないかと考えておりますが、いかがでしょうか。時間は10時でよろしいでしょうか。場所は中宮北小学校を考えておりますが、状況を見てリモートで開催する場合にはあらためてお知らせさせていただきます。

○（「異議なし」）

・
・

委 員： 学校や地域の行事もだんだん多くなってきますので、9月以降の大体の日程も決

められないでしょうか。

事務局： 「高陵小・中宮北小学校の統合による新しい学校づくりについて」は、他の小中学校の校長先生や庁内各課からもご意見を聞きながら進めてまいります。その後につきましては、新しい学校名が決定していき、各々のワーキングチームで取り組んでいただいていることの共有や、校歌・校章等の取り組みについてご協議していただくことを考えておりますので、次の日程につきましては進捗状況を確認しながら決めさせていただきたいと思います。極力、学校や地域のスケジュールと合わせていきたいと考えており、また皆さまとご調整させていただきますのでよろしくお願いいたします。

委員： 中宮北小校区としては9月11日（土）をはずしていただけたらと思います。

会長： もし案件が多ければ8月中にもう1回というのも考えられますので、事務局の方で早めのご調整をよろしくお願いいたします。

副会長： 学校名が決まりましたら、保護者等へは我々から発信する形になりますか。

事務局： 決定したら、教育委員会から発信させていただきたいと考えております。発信の手法については、これから検討していきたいと思います。

委員： 枚方市としてはプレスリリースされるのではないのでしょうか。

事務局： プレスリリースは未定ですが、行うのであれば学校名の議会議決後になります。

会長： 各委員へお知らせいただくのは、正式に決定してからお願いいたします。

会長： 皆様のご協力のおかげで、会議がスムーズに運びました。本日の協議会はこれで終了としたいと思います、ありがとうございました。